

1 はじめに

本町の図書館の歴史は、明治42年(1909年)、高等寒川小学校内に寒川図書縦覧所を設置して以来脈々と受け継がれ、昭和50年代後半からは、公民館図書室4館の一体的な運営を大切にしながら図書館サービスを展開してきました。

しかし、そのような状況下でも総合的な図書館については、町民アンケートで長年にわたり要望の高い施設にあげられ、平成14年度にスタートした総合計画「2020プラン」に図書館が位置づけられ建設計画が本格化しました。「町民に本のぬくもりを伝えたい」をコンセプトにして、滞在型、ハイブリッド型図書館といった、21世紀型図書館をめざし計画がすすめられ、平成18年11月3日、町民待望の総合図書館がオープンしました。

平成24年10月には、図書館サービスの充実を図るため北部文化福祉会館と南部文化福祉会館の図書室を寒川総合図書館の分室に位置付け、図書館のネットワーク化をはかりました。

また、平成29年4月から持続可能なサービスの維持向上をはかるため、指定管理者制度を導入しました。

社会教育活動や文化活動、また地域の情報発信拠点として多くの町民にご利用いただき、寒川総合図書館が“文化の町 さむかわ”の礎となるよう更なる充実に努めます。

2 寒川町の概要

神奈川県の中流部を流れる相模川の河口から上流約6kmの左岸に位置し湘南地域の一角を占めています。町の面積は13.42km²(東西2.9km、南北5.5km)、都心から50km圏内にあり、東は藤沢市、西は平塚市と厚木市、南は茅ヶ崎市、北は海老名市に接しています。標高は約5mから27m、おおむね平坦な地形で東部は相模野台地の南西部に位置し、その他は相模川、目久尻川、小出川によって形成された沖積低地となっています。

本町は、明治22年に当時の11ヶ村が合併し寒川村となり、昭和15年11月に町制を施行、昭和30年7月に相模川沿岸にあった中郡大野町の一部を編入し現在に至ります。昭和30年代半ばからの高度経済成長期には相模川沿岸を中心に工場が相次いで進出し、併せて宅地開発が急速に進行したことから人口が急増、現在では人口約4万8千人余りで、神奈川県内で最も人口の多い町となっています。

平成10年に行われた神奈川県国体に合わせ、寒川総合体育館とさむかわ中央公園が完成、町民の健康づくりや憩いの場となっています。

平成27年3月、さがみ縦貫道路寒川北インターチェンジと海老名ジャンクション間約4.3kmが開通したことにより、さがみ縦貫道路の全線が開通し、新湘南バイパスや東名高速道路などと直結しました。交通網の整備が進んだことにより、産業の振興や地域の活性化など更なる発展が期待されています。

令和4年4月1日現在

■寒川町の人口 48,528人
■寒川町の世帯数 20,272世帯

■図書館の位置

